

製品名: リン酸化 PERK (Thr982) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03837**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 125 kDa; Observed MW: 130 kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF2AK3
別名	EIF2AK3; PEK; PERK; Eukaryotic translation initiation factor 2-alpha kinase 3; PRKR-like endoplasmic reticulum kinase; Pancreatic eIF2-alpha kinase; HsPEK
遺伝子 ID	9451
SwissProt ID	Q9NZJ5
免疫原	抗血清は、Thr981 のリン酸化部位周辺のヒト PEK/PERK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 947-996

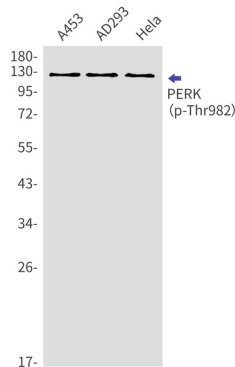
背景

代謝ストレスを感知するタンパク質キナーゼ。小胞体タンパク質応答 (UPR) 時およびアミノ酸利用率の低下に反応して、真核生物翻訳開始因子2 (eIF-2-alpha/EIF2S1) の α サブユニットのSer-52をリン酸化します。リン酸化eIF-2-alpha/EIF2S1は、タンパク質合成全般を阻害する因子 (アミノ酸の全体的利用を低下させる) または転写活性化因子 ATF4 などの特定の mRNA の翻訳開始活性化因子 (ATF4 を介したアミノ酸合成遺伝子発現の再プログラミング) に変換され、栄養枯渇を緩和します。サイクリン D1 (CCND1) の喪失による小胞体タンパク質応答 (UPR) 誘導性 G1 期成長停止の重要なエフェクターとして機能します。ミトコンドリアの形態と機能の制御に関与しています。

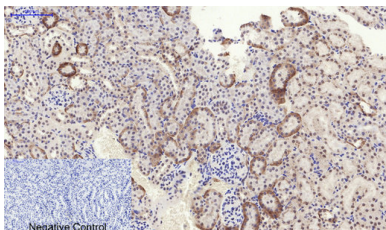
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

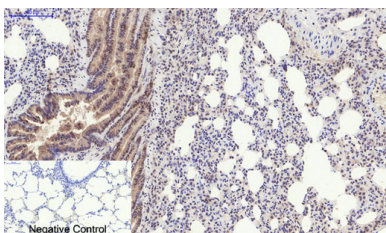
画像データ



Phospho-PERK (Thr982) 抗体を使用した A453、AD293、Hela 溶解物中の Phospho-PERK (Thr982) のウエスタン プロット分析。



Phospho-PERK (Thr982) 抗体を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Phospho-PERK (Thr982) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。